



# 国際交流ひろば

10  
月号

## KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 258/ October 2022

### 県民交流センターで実施する講座 のご案内

### 県内各地で実施する講座 のご案内

韓国

#### 全羅北道文化紹介講座

10/29(土) 県民交流センター  
1階レクチャースペース

第1部(10:30~11:30)

「韓紙による花づくり体験」

対象：子ども(小・中学生まで)と保護者  
定員：30名(要申込・参加費無料)

第2部(13:30~15:30)

「韓国ハンコづくり体験」

対象：高校生以上  
定員：30名(要申込・参加費無料)

※講座の詳細や申込み等については、別途チラシや当協会HP  
をご覧ください。

【問合せ先】 099-221-6620

県国際交流員による文化紹介講座

#### 国際理解講座 in 薩摩川内市 「もっと知りたいシンガポール」

10/22(土) 13:30~15:00  
薩摩川内市国際交流センター

対象：どなたでも

定員：先着25名(要申込・参加費無料)

【問合せ・申込先】

薩摩川内市国際交流協会 0996-22-7740

公募型国際理解講座

#### 台湾料理講座

台湾料理を作りながら国際交流を楽しみましょう！

11/13(日) 14:00~15:30  
県民交流センター 5階 調理室

※講座の詳細や申込み等については、別途チラシや当協会HP  
をご覧ください。

【問合せ先】 099-221-6620

#### 災害時に助け合えるまちづくり事業

こんなときどうする？ 災害に備えよう！

地域の災害や災害時の外国人へのサポートの手法、  
多文化共生について理解を深める講座を開催します



in 沖永良部

10/23(日) 10:30~16:50  
和泊町役場内各会場

対象：和泊町及びその周辺にお住まいの日本人、外国人  
定員：日本人20名、外国人20名

【問合せ・申込先】

和泊町役場企画課 0997-84-3512

公募型国際理解講座

#### パラグアイ鹿児島県人会 60周年記念 『パラグアイと鹿児島』

今年はパラグアイ鹿児島県人会創立60周年。  
パラグアイの国について、鹿児島からパラグアイへ移住した人々の歴史  
などについて紹介します！

11/20(日) 10:00~12:00  
県民交流センター 1階 会議室 A

※講座の詳細や申込み等については、別途チラシや当協会HP  
をご覧ください。

【問合せ先】 099-221-6620

in 湧水町

11/13(日) 10:30~16:50  
栗野中央公民館各会場

対象：湧水町にお住まいの日本人、外国人  
定員：日本人20名、外国人20名

【問合せ・申込先】

湧水町企画財政課 0995-74-4249

# 「Kagoshima で暮らして」



鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。

今回は、鹿児島大学医学部に留学しているタンザニア出身の アンワー アーメッド サリム さん にお話をうかがいました。

## アンワーさんのプロフィールを教えてください。

タンザニアの内陸部のドドマで5人兄弟の2番目として生まれました。人口30万人ほどの小さな町ですが、1990年代にダルエスサラームから首都機能を移転した都市で、そこで大学まで過ごしました。卒業後、インターンや病院勤務を経て、2019年4月に日本に来ました。国外に出たのはそれが初めてです。



鹿児島大学留学生(医学部)  
アンワー アーメッド サリム さん

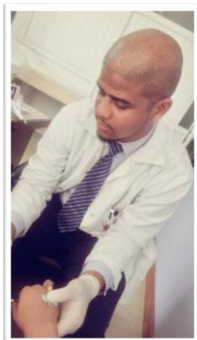
妻とは大学3年生の時に結婚しました。タンザニアでは若いうちに結婚するのは珍しくありません。妻も医師です。双子の娘(7歳)と息子(5歳)の3人の子供がいます。彼女と子ども達は、コロナの影響で2年遅れの2021年9月に来日しました。

## 鹿児島大学を留学先に選んだ理由は何ですか？

まず日本への渡航を決めた理由が3つあります。ドマ大学での恩師が日本での勉強を強く勧めたこと、日本で学んで帰国した先輩医師たちがタンザニアで非常に高い評価を得ていたこと、そして自分自身も大学卒業後はどこか海外で勉強したかったのです。

それで、最初は大阪大学に行きたかったのですが、当時、師事することを希望していた同大学の大石充先生が鹿児島大学に移籍したので、私も鹿児島に来たという訳です。

## どんな研究をしているのですか？



心臓血管系高血圧症を専門にしています。そのほか、老化による身体機能の劣化に関する研究もしています。日本は高齢化社会であり、鹿児島大学でも垂水市をフィールドに、老化による身体機能の劣化防止のための食事や生活習慣などを大石先生のもとで調査しており、私も参加しています。私の希望の分野なので、鹿児島に来てとてもよかったと思っています。

←ダルエスサラームの病院で勤務している様子

## タンザニアについて少し教えてください。

アフリカ大陸東部に位置し、1961年に大陸部(タンガニーカ)が独立し、その後、海側の島嶼部ザンジバルと連合してタンザニア連合共和国となりました。人口6千万人でタンザニア革命党(CCM)を与党とする複数政党制の民主主義国家です。初代大統領は、後に「国家の父」と呼ばれるニエレレ大統領で、今でも国民に広く敬慕されています。そのニエレレ大統領が広く普及に努めたスワヒリ語が国語となっており、ほかに英語とフランス語が公用語です。

観光資源として、キリマンジャロやセレンゲティ国立公園など有名な自然遺産を有しています。



セレンゲティ国立公園の様子

## 鹿児島で暮らしてみてもの印象は？

実は日本に来るまで鹿児島についてはほとんど知識がなく、インターネットで場所を調べたりしました。でも、ネット情報で得た知識と実際に住んでみて経験したことは全く違いました。最初の1~2年目は何もかも戸惑うことが多かったのですが、今では鹿児島が大好きです。海に面した街で、ダルエスサラームに似ています。私は海を見るのが好きで、与次郎の長水路がお気に入りの場所です。朝早くに散歩して、目の前の錦江湾や雄大な桜島を楽しんでいます。

日本人は親切な人が多く、また、相手に対してお辞儀をするなど敬意を持って接してくれます。タンザニア人も礼儀を重んじる文化があり、人と会うと、特に女性は少し膝を折って挨拶する習慣があります。服装についても、女性があまり肌を露出しないところは似ていると思います。

仕事については、日本人はハードワーカーですが、タンザニア人はそれほど長時間働くことはありません。

## 食事についてはどうですか？

食べ物に関しては、大きく違います。タンザニア人の主食は、トウモロコシの粉をお湯で練って作る餅状の「ウガリ」と呼ばれるもので、これにおかずとして肉や魚、野菜などを添えて食べます。鹿児島でも市内の量販店でトウモロコシの粉が手に入るの、時々妻が作ってくれます。ただ、タンザニアの粉は白いのですが、こちらのは黄色いので、そこが違います。

日本食は私はとてもおいしいと思います。豚肉以外は何でも食べます。納豆も大丈夫です。家族も徐々に慣れてきています。

## ご家族の鹿児島での暮らしは？

妻と子ども達が、来日した際、東京のホテルで2週間の隔離生活でしたが、日本のウォシュレットなどにびっくりしていました。鹿児島に来て、いろいろ日本の文化や生活を学びつつあります。近所の公園で遊ぶことやレストラン、ミスタードーナツがお気に入りです。家では英語とスワヒリ語で会話しますが、娘たちは名山小学校に通っているの、だんだんと日本語もうまくなるでしょう。

週末にはレンタカーで指宿や霧島に出かけたりします。先日は泊まりがけで阿久根大島に行きました。海水浴や鹿の群れを楽しみました。

## 外国人と鹿児島の人との交流を進めるには？

その質問に答える前に、まず外国人そのものにとっても、日本のような異国に住んでみることは視野を広げ、ものの考え方を変える非常に大きなチャンスになると思います。ですから、ぜひタンザニアに限らずいろんな国から日本に来てほしいです。最初の数ヶ月は苦勞もあると思いますが、自分の勉学だけに集中せず、日本での生活を楽しんでほしいです。そうすることで、本当に人生や価値観が変わります。その意味で、国際交流協会は、外国の人を受け入れ、日本人の海外渡航を促しているとてもよい組織だと思います。次に、日本の人が外国人と交流を進めるために相手の国の情報や交流相手を探したいと思ったら、その国の在東京の大使館を利用するのが最も効果的です。例えばタンザニアについても東京の大使館に依頼すればたくさんの情報や日本国内あるいはタンザニアの関係団体を紹介してくれます。

また、鹿児島にいる外国人が参加できるようなイベントがたくさんあればいいと思います。国際交流協会でもいろいろなイベントを実施していますが、ただ、そのイベントや行事の情報をどうやって外国人に伝えるかが難しいところです。例えば鹿児島大学と共同で何かのイベントを行うとかすれば、海外から来たばかりの留学生にもその情報が伝わるでしょう。また、特に、人数の少ない国の人たちにはネットワークもあまりないので、そこをしっかりとサポートする必要があります。

# 「かごしまから見える世界」 Vol.10

かつてから外国との交流が盛んだった鹿児島。鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所をご紹介します。今回は、鹿児島市の南州公園内にある「黄興先生南洲墓地参詣之碑」と肝付町の「二階堂家住宅」をご紹介します。

今年2022年は日中国交正常化から50年目に当たる。50年前の1972年9月29日、中国の周恩来総理らと日本の田中角栄首相らが日中共同声明に調印し、戦後途絶えていた両国の公式の国交が回復した。今日に繋がる大きな歴史的瞬間である。今回はそれにちなんで「かごしまから見える世界」を2題ご紹介したい。

まずは、1972年からさらに60年遡る1912年、中国には非常に大きな転換点があった。中華民国(北京政府)の成立である。

## 「我は中国の西郷たらん！」

中華民国の生みの親は、「国父」と呼ばれる孫文(中山)その人である。それまで大陸を支配していた清国(王朝)が19世紀末に欧米列強の浸食により統治能力を失っていくと、孫文ら革命勢力が、満州族による清王朝を放逐し、漢族による共和制国家をつくらうと各地で立ち上がる。何回かの蜂起の後、1912年1月1日に清王朝が倒され中華民国が樹立されると、孫文は臨時大總統に就任し、近代国家建設への第一歩を記すことになる。この一連の大きな動き(辛亥革命)において、常に孫文の片腕となり、「辛亥革命の2本柱」と言われるほど重要な役割を担った人物に「黄興(Huang Xing)」という人がいる。

黄興は1874年、湖南省善化县(現在の長沙)の学者の家の生まれ。1902年、選ばれて日本に最初の留学(約2年間)をし、爾来、生涯で都合8回の来日・留学を積むことになる。早くから民族主義に目覚め、清朝打倒を目指す秘密結社「華興会」を組織しその総理となった後、孫文の「興中会」と日本で統合を図り、1905年に中国同盟会を結成する。同盟会は「滅満興漢・民国革命」をスローガンに、中国革命運動に転機をもたらし、後の辛亥革命へと続く王朝政治打破近代国家樹立への大きな推進力となった。

その黄興だが、実は辛亥革命前の1909年(明治42年)に鹿児島を訪れている。日本への留学・滞在を重ねるうちに、聡明な黄興は教育学、軍事学、法学など多方面の学問を修め



ていくが、中でも明治維新の偉人「西郷隆盛」の魅力に傾倒し、生涯、尊

崇の念を強く持ち続け、友人の宮崎滔天の案内で鹿児島を訪れ、南洲墓地を参詣している。そのことを歴史の事実として後世に残すため、鹿児島市日中友好協会が、鹿児島市・長沙市姉妹盟約25周年の2007年、南洲公園内に「黄興先生南洲墓地参詣之碑」を建立、除幕式を行っている。(\*)

記念碑は高さ約2.4mの黒御影石製で、敷石には湖南省産の御影石が使われている。台座部には黄興の略歴や業績が書かれるとともに、黄興が南洲墓地を参詣した際の感慨が誌に賦して刻まれている。

「八千の子弟同塚に甘んず／世事ただ争う一局の棋／悔す當年九州の錯／勤王の師は王師を仆さず」

南洲翁の墓石を仰ぎ見るかのような黒光りの記念碑からは、自身も寡黙・沈着豪胆な性格にして体格も偉大で英雄の風格を持ち、「中国の西郷」とも呼ばれた黄興の「湖南は必ず中国の薩摩になるべし。我は中国の西郷南洲たらん」との叫びが今も聞こえてきそうである。(\*)

(\*) 海江田順三郎鹿児島市日中友好協会会長によると、1991年、姉妹都市である長沙市への親善訪問帰国後の鹿児島での報告の最中に同席者から「長沙市の黄興の遺跡は如何」と問われたのがきっかけ。その後、湖南師範大学や東京学芸大学の研究者から資料を取り寄せ、黄興が大の西郷南洲崇拜者であり、南洲墓地参詣の歴史があることを知り、鹿児島市の公園管理当局の同意を得て建立したとのこと。現在も黄興の命日に当たる10月31日の前後に黄興先生顕彰の行

事を行う。

(\*) 鹿児島市役所西別館2階の国際交流サロンには黄興の手になるという書の額が飾られている。「臥薪嘗胆」の4文字は、何回かの蜂起失敗の後に、遂に革命を成し遂げた黄興の生き様を表しているようだ。



## 「趣味は田中角栄」

2つめの話題は、1972年の日中国交正常化交渉に絡んで、彼らを支えるべく二階堂進官房長官(肝付町出身)も交渉団に加わって訪中している。二階堂氏は戦後すぐの衆議院議員選挙で当選し、その後1955年から引退するまで約40年間、16期にわたり国会議員を務めたが、任期中に田中派を結成、「趣味は田中角栄」と公言するほど惚れ込んだ。この二階堂氏が交渉団に加わり、毛沢東国家主席と田中首相らとの会見や日中共同声明調印式に参加している。もともと二階堂氏族は鎌倉時代には薩摩北部の豪族であり、島津の配下となって現在の肝付町に移住させられたという。進氏が生まれた木造茅葺き屋根寄棟

造の二階堂屋敷(二階堂家住宅)は1810年頃の建立と言われるが、現在も肝付町新富にしっかりと現存している。国の重要文化財に指定され、一般にも公開されており、薩摩独特の「オモチ」と「ナカエ」の建物が連結した家内には、大きなパンダのぬいぐるみがお客さん待っている。





世界各地で活躍する鹿児島ゆかりの方からのお便りです

# 世界あちこち便り

## 「メキシコから Hola! (こんにちは)」

山下繁樹

今年度4月から、シニア派遣で、メキシコのアグアスカリエンテス日本人学校に校長として赴任しています、山下繁樹といいます。私たちの学校には、鹿児島県から他に2名の教員が派遣されています。世界中に95校の日本人学校がある中、同じ学校に同じ県から3名同時というのはとても珍しいことです。3名とも、赴任してまだ4か月しか経っていませんが、私たちが感じているメキシコを少しだけ紹介します。

### 【メキシコ&アグアスカリエンテス】

メキシコは、アメリカの南に位置して、首都は標高2240mにあるメキシコシティです。国土は、日本の約5倍、人口は日本とほぼ同じくらいです。

アグアスカリエンテスは、初めて名前を聞いた人がほとんどだと思います。メキシコのほぼ中心部に位置していて、標高1880mにあり、約140万人が暮らす内陸の街です。昔、サカテカスというところで銀が採れ、それをメキシコシティに運ぶ中継地として栄えた街です。今は、日本の自動車工場があり、それに関連する日本の企業が進出しています。日本人学校の児童生徒の多くは、その子女です。

### 【コロナとの闘い】

コロナ前は、100名を超えていた児童生徒数が、今は57名です。約2年の間、子どもたちはほとんど学校に行くことができず、自宅でパソコンを通してのリモート学習が続いていて、今年度のスタート時も、学校に子どもたちの声はありませんでした。その後、毎日登校できるようになり、創立40周年を迎えた今年度、子どもたちの記憶に残る取組をしたいのですが、今はまた、市中のコロナ感染が増えてきたことで、3日に2日登校する分散登校をしています。

学校はそんな状況ですが、街の人たちは、とても明るく、フレンドリーです。自転車で出勤することが多いのですが、すれ違う人たちのほとんどが「Buenos dias. (ブエノス デ ィアス) おはよう」と声をかけてくれるので、同じように返して、気持ちよく出勤する毎日です。

## 「メキシコにやってきて」

永野あゆみ

外国に来たなどと思うのは人の目。私も日本では無意識に外国から来ている方にそうしていたはずと反省します。「Hola(オラ)!」と見知らぬ私にも声をかけてくださる明るい人ばかりです。お店、車、現地の学校などなど、どこでも、そこら中で陽気な音楽が大音量で響き渡り、踊り歌います。いつか仲間入り…、そんな野望があり、スペイン語も楽しく学習していますがなかなか頭に入っておりません。リピーテド(繰り返し)とポコアポコ(ゆっくり)が大事です。学校の守衛さんと身振りだけでも冗談を交え話そうになった事が楽しいです。

それから、メキシコの食事は美味しいものばかりです。子どもたちとメキシコ料理について勉強する機会もいただいています。知る度にトルティージャやワカモレなど、土曜日は家で挑戦して

います。果物にチレがかかったものを美味しいと思えるようになります。刺激的な毎日を過ごさせていただいています。この機会、この場所だからできることを見つけて楽しく過ごしたいです

## 「メキシコに赴任して」

高橋 改太

今年4月からアグアスカリエンテス日本人学校で勤務することになりました。「海外で活躍する日本の方を支えたい!」と日本人学校の教員派遣に応募しましたが、赴任先がメキシコでも嬉しく思っています。学生時代に過ごしたメキシコにまさかこのような形で戻ってこれるとは思ってもみませんでした。

慌ただしい生活の中であっという間に3ヶ月が過ぎ、忙しい中でもメキシコでの生活を楽しむことができるようになってきました。メキシコでの生活は日本の生活と大きく異なります。日本の感覚でいると思うようにいかないことも…(水の大切さ、そして恐ろしさを痛感する日々、などなど)それでも、メキシコの人たちの温かさにはふれると「ni modo!(しょうがないさ!)」と思ってしまうのです。すれ違う人と気軽にあいさつ、困っていると寄り添って(これでもかっというくらい)色々教えてくれる優しさ。子ども同伴での赴任で不安もありましたが、周囲からのサポートのおかげで、現地校で楽しく生活できていること。この全てがメキシコの魅力だと感じます。ここでしかできない経験をしながら日本の子どもたちとともに学ぶという素晴らしい機会に感謝しつつ、日々前進していきたいです。



「サンマルコス祭(国内外から800万人が集まると言われるアグアスカリエンテスのお祭りの歓迎モニュメント)」



「月のピラミッド(ティオティワカン)」

メキシコのアグアスカリエンテス日本人学校に派遣されている鹿児島ゆかりの先生方

(左) 山下繁樹先生  
校長 シニア派遣

過去に、西ドイツのデュッセルドルフ日本人学校(教諭)、オーストラリアのパース日本人学校(校長)の派遣経験あり



(中央) 高橋改太先生  
教諭

原籍校 いちき串木野市立市来中学校

(右) 永野あゆみ先生  
教諭

原籍校 奄美市立名瀬小学校

# いちき串木野市国際交流協会

いちき  
串木野市



「外国人のための日本語・日本理解講座」の様子

## ◆いちき串木野市国際交流協会とはどのような団体ですか？

いちき串木野市の特色を活かした国際交流活動を推進し、諸外国との相互理解や友好親善に寄与するとともに、国際性豊かな人材育成を行うことを目的に、平成10年12月15日に発足しました。

## ◆どんな活動をしていますか？ また、県民の方はどのように関わることができますか？

日本語学習者を支援する「日本語サポーター養成講座」をはじめ、在留外国人向け「外国人のための日本語・日本語理解講座」や国際理解・料理教室、また「英語のまち」ならではの子どもたちが外国語や異文化に触れることができるイベント「イングリッシュキャンプ（※2022年よりこども大学として実施）」等を行っています。県民の皆様には、当協会で開催している取組やイベントにおいて、外国人住民との交流やボランティア等を通して、ご参加いただけます。

## ◆県民の方へメッセージをお願いします。

本市は昨年度、「いちき串木野市多文化共生推進プラン」を策定し、基本理念を「相互の文化や習慣を理解し 共に支え合い 認め合う 多文化共生のまち いちき串木野市」と掲げました。今後も多文化共生のまちを推進していきます。機会がありましたら、本市の国際交流・多文化共生イベントに是非お越しください。



「子ども大学」の様子

いちき串木野市国際交流協会（いちき串木野市役所 企画政策課）

TEL:0996-33-5628 FAX:0996-32-3124

# かごしまの 国際交流団体紹介



# 薩摩川内市国際交流協会

薩摩  
川内市

## ◆薩摩川内市国際交流協会とはどのような団体ですか？

市町村合併に伴い、薩摩川内市中国友好協会、かごしま川内日韓親善協会、入来町国際交流協会、東郷町国際交流協会を引継ぎ、2005年に薩摩川内市国際交流協会が設立されました。外国との相互理解と友好を深め、世界の平和と繁栄に貢献することを目的としております。

## ◆どんな活動をしていますか？また、県民の方はどのように関わることができますか？

外国人講師による言葉の学習を通し、語学力の向上や受講生間の情報交換などを行う語学講座を推進しています。国際理解講座では、その国の紹介を通じ異文化・多文化共生への理解を深め、世界の料理講座は、食材などから、その国で食される意味を知り、味わうことで食文化を体験できます。県民の方も語学講座や国際理解講座にご参加いただけます。

## ◆県民の方へメッセージをお願いします。

薩摩川内市民だけでなく、どなたでも会員になれます。講座やイベント情報は、当協会ホームページでご覧いただけます。お気軽にお問い合わせください。



「国際理解講座『ピラミッドだけじゃないエジプト』の様子



「韓国料理講座」（参鶏湯・きゅうりキムチ）の様子

薩摩川内市国際交流協会

薩摩川内市天辰町 2211-1（薩摩川内市国際交流センター内）

TEL: 0996-22-7740 Email: kssb@ninus.ocn.ne.jp

HP



～JICA 海外協力隊 2022 年度**秋募集**が始まります!～

JICA 海外協力隊とは?

開発途上国の国づくりに貢献できる人材を現地へ派遣、帰国後もグローバル人材としての活躍が期待されています。JICA（独立行政法人国際協力機構）が派遣する青年海外協力隊/シニア海外協力隊は、2年間開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献する活動を行っています。帰国後は、日本をはじめ様々な国や分野で、経験を生かした貢献が期待されています。

いつか世界を変える力になる。

**JICA海外協力隊**



<JICA 海外協力隊募集説明会のお知らせ>

①**10月30日(日)** ②**11月20日(日)**

会場：かごしま県民交流センター

時間：14:00～16:00

\*お問合せは、九州海外協力協会まで



募集説明会 JICA 海外協力隊募集説明会では、事業概要をはじめ、体験談発表や個別相談を行い JICA 海外協力隊に興味のある方の疑問にお答えします。堅苦しい雰囲気ではありませんので、私服でお気軽にご参加下さい。協力隊経験者と楽しく話しましょう。

JICA デスク鹿児島 担当:飯屋 TEL:099-221-6624 (公財)鹿児島県国際交流協会内



がいこくじん そうごう そうだんまどぐち  
**外国人総合相談窓口**

かごしま す がいこくじん かた そうだんまどぐち  
鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

**対応言語**：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語/ウクライナ語

かごしまけん こくさいこうりゅうきょうかい  
鹿児島県国際交流協会内  
TEL：070-7662-4541  
E-mail：kiasoudan@gmail.com



Facebook



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会  
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: [kia@kiaweb.or.jp](mailto:kia@kiaweb.or.jp)

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。